

東光寺たより 68

文責 東光寺英隆

客人有り遠方より来る、亦楽しからずや♪



東京より来客有り、住職は心待ちにしておりました♪素敵なお客さん♪心が踊ります。いつも当山の事を気にかけてくださり御礼の申しようもございません♪心ばかりのたよりを数号お渡ししました♪

揖斐祭の風景♪



山車の装飾に眼を奪われ碧空栄えるイットキ



町内三輪神社

夕陽とラヴェンダー♪

GWも休み無しの住職♪最後の方に申し訳程度の空き時間が流れた時に、夕陽が差し込み幽玄な一刻を見る事が出来ました♪当山にて



可愛いワンコの抹茶茶碗♪

町内の瀬戸物屋へお邪魔して、可愛いワンコの抹茶茶碗が有り、即購入しました♪お店の雰囲気も良くて、店側に撮影良いですか？と訊いたところ快く応じて下さりシャッターを切った住職でした♪お花は精魂込めて育てたのを飾っていますと説明有りました♪



GW のルーティーン ♪

表記の期間中は必ず、町内は三輪神社へお詣りに出かける住職です♪此度は、天気も良く清々しい気持ちで臨む事が出来、その際に何処からともなく雅楽の奉納が始まり、拝聴してまいりました♪厳かな空間が流れたイットキでした♪



とある禅師の足跡について

表記の禅師の名前はご存じ、虎哉禅師♪言うまでもなく伊達政宗の師父であります。命日が5/8ですでお経を誦んで遺徳を偲ぶ住職でした。小僧時代に当山で勉強していたという歴史がございまして、師の教えは一風変わっていたと伝えられています。「痛ければ痛くないと言え、悲しければ笑え、暑ければ寒いと言え」と梵天丸（後の伊達政宗）に教えたとされています。簡単に物事に動じず、常に冷静でいなさいという虚静恬淡の心だと言えますね。虎哉禅師の存在を初めて知ったのは大河ドラマ“独眼竜政宗”であり、この時演じていた俳優が大滝修治でした。今思い返して見ると、しっかり剃髪してもらいたいと突っ込みを入れた住職ですが、イメージ的には、

大滝修治でピッタリだろうかと思えたりするのです♪今回も懇ろに経を誦んで静かに過ごしたのであります♪画像は令和7年の荘厳の様子です♪



(重要) 熊出没の一報 ♪

5/8の夕刻に当山の駐車場に熊が出たとお参りの方より報告が寄せられ、緊急配備が敷かれたのであります♪住職はたまたま留守にしており、対応等は前住職を中心に展開しました。いよいよ来たかというのが本音でございます、たまたま境内にハチの巣箱が備えられており、それらを狙ったものと思われます。人への被害等は無かったのが不幸中の幸いでありました。当山としても今後も引き続き警戒を続けてまいります♪

ホタルブクロ満開です ♪

住職の書斎の脇のホタルブクロが見頃を迎え、見る者を魅了してくれています。そもそも、他所は未だ咲いておらず、この一角だけ咲き誇るという珍しい現象。なんとも不思議でならない住職でした♪おっと花言葉も紹介しておこう♪ホタルブクロの花言葉は「正義」「忠実」とも言われ、実は「悲しいときの君が好き」というややネガティブな花言葉もついています。

